

21年度 決算認定

今回の定例会には、町側から平成21年度一般会計・各特別会計の決算認定の議案が上程されました。決算特別委員会での審査後、本会議において、一般会計を賛成14名、反対2名で、また、各特別会計については全会一致で認定しました。

町長が決算議案を提出



石塚町長が決算を提出

決算認定の議案を提出するにあたり、町長から、21年度は町が目指す「人と自然が織りなすまち みずほ」の実現に向けての諸事業を次のとおり実施したとの説明がありました。
なお、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の規定により、普通会計における健全化判断比率は健全であるとの報告がありました。

「環境と共生するまちづくり」

- ・狭山池周辺整備基本計画策定
- ・リサイクルプラザ敷地内に太陽光発電設備設置
- ・福祉バス購入・運行開始

「活力ある生活を支えるまちづくり」

- ・(仮称)長岡コミュニティセンター実施設計
- ・東京国体競技会場整備実施設計
- ・地域防災計画の見直し
- ・青色回転灯装備車導入
- ・プレミアム商品券発売

「自らを高め互いを認め合うまちづくり」

- ・福祉会館改修(ふれあいセンター)
- ・心身障害者授産施設建設(福祉作業所「さくら」)
- ・次世代育成支援行動計画見直し
- ・妊産婦検診費用助成増(5回から14回に)
- ・二小耐震補強工事

「計画の推進」

- ・瑞穂町長期総合計画審議会設置
- ・町民意識調査実施
- ・まちづくり懇談会実施

各会計の決算額

会計名	歳入	歳出	
一般会計	135億6,283万7,248円	130億4,178万629円	
特別会計	国民健康保険	35億7,566万2,447円	35億4,597万6,760円
	駅西土地区画整理事業	4億5,341万5,701円	4億5,169万7,120円
	下水道事業	10億2,655万5,432円	9億9,599万4,078円
	老人保健医療	1,551万162円	926万618円
	介護保険	14億4,213万9,063円	14億3,650万5,788円
	後期高齢者医療	3億8,104万7,564円	3億7,847万8,541円
	殿ヶ谷財産区	762万5,450円	644万6,281円
	石畑財産区	2,494万5,578円	2,054万7,293円
	箱根ヶ崎財産区	910万8,601円	737万6,535円
長岡財産区	179万5,626円	153万1,330円	

決算特別委員会で審査

議員から218件の質疑

町側から議案の提出を受けた議会では、直ちに決算特別委員会を設置し、委員長に小野芳久議員、副委員長に石川修議員を選出。議長、議会選出監査委員を除く15名により、3日間にわたって審査を行いました。
一般会計では、前年度と比較して歳入では約7億7,752万円(6・08%)の増、歳出では約11億9,916万円(10・13%)の増となっています。

各議員の賛否は10ページに記載



委員会での審査の様子



起立採決の様子(本会議)

一般会計決算における決算委員会質疑のピックアップを次ページ以降に掲載しております。

一般会計については、次のとおり賛成・反対の討論が行われました。(要約)

賛成

石川 修議員

歳入では、経済情勢の悪化による町税や国の交付金の減少により、厳しい財政運営となった。
歳出では、青色回転灯装備車による防犯パトロールの実施。福祉会館は、バリアフリー化や利便性を図った。また、高齢者などの移動手段として、福祉バスの試行運転を開始するなど、健全なバランスの取れた事業が執行されたと認められる。

反対

大坪 国広議員

高齢者の生活環境は依然として深刻な状況、下水道料金の軽減策は評価できるが、多摩地域で実施している介護保険料・利用料の独自軽減策を実施するべきであった。
子ども医療費の所得制限や通院一回200円への助成、完全無料化を実施するべきであった。
栗原地区の区画整理は、新駅構想の見直しもなく「一時凍結すべき」であり、2つの区画整理の問題点を教訓とし、再検討すべきであった。